

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	書写から書道へ	・ 中学校国語科書写で学習したことを振り返る。	(2)(3)
	一 漢字の書	・ 漢字の成立と変遷について理解する。	(3)(7)
		・ 臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。	(2)(3)
		・ 篆書、隸書、草書、行書、楷書のそれぞれの特徴や用筆、運筆、結構や字形の取り方について学習し、練習する。	(1)(4)(5)
二 学 期	○ 文化祭に向けた作品制作 ・ 文化祭出品作品制作	・ 創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価する。	(1)(4)(5)
	二 仮名の書	・ 仮名に関する用語や特徴、種類について理解し、練習する。	(1)(4)(5)
		・ 古筆を鑑賞し、その美について理解する。	(2)(3)(7)
三 学 期	三 漢字仮名交じりの書	・ 漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。	(2)(3)
		・ 古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。	(1)(4)(5)
		・ 文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。	(1)(2)(4)
		・ 著作権について理解する。	(2)(3)
	四 生活の中の書	・ 便箋や封筒の宛名、履歴書など、改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く練習をする。	(1)(2)(4)
		・ 街中や身近な生活の中で生かされる書を探し、自分たちの生活でどのように生かすことができるかについて考える。	(2)(3)(6)

備考

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	書写から書道へ	・ 中学校国語科書写で学習したことを振り返る。	(2)(3)
	一 漢字の書	・ 漢字の成立と変遷について理解する。 ・ 臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。 ・ 篆書、隸書、草書、行書、楷書のそれぞれの特徴や用筆、運筆、結構や字形の取り方について学習し、練習する。	(3)(7) (2)(3) (1)(4)(5)
二 学 期	○ 文化祭に向けた作品制作 ・ 文化祭出品作品制作	・ 創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価する。	(1)(4)(5)
	二 仮名の書	・ 仮名に関する用語や特徴、種類について理解し、練習する。 ・ 古筆を鑑賞し、その美について理解する。	(1)(4)(5) (2)(3)(7)
三 学 期	三 漢字仮名交じりの書	・ 漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。 ・ 古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。 ・ 文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。 ・ 著作権について理解する。	(2)(3) (1)(4)(5) (1)(2)(4) (2)(3)
	四 生活の中の書	・ 便箋や封筒の宛名、履歴書など、改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く練習をする。 ・ 街中や身近な生活の中で生かされる書を探し、自分たちの生活でどのように生かすことができるかについて考える。	(1)(2)(4) (2)(3)(6)

備考

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	書写から書道へ	・ 中学校国語科書写で学習したことを振り返る。	(2)(3)
	一 漢字の書	・ 漢字の成立と変遷について理解する。 ・ 臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。 ・ 篆書、隸書、草書、行書、楷書のそれぞれの特徴や用筆、運筆、結構や字形の取り方について学習し、練習する。	(3)(7) (2)(3) (1)(4)(5)
二 学 期	○ 文化祭に向けた作品制作 ・ 文化祭出品作品制作	・ 創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価する。	(1)(4)(5)
	二 仮名の書	・ 仮名に関する用語や特徴、種類について理解し、練習する。 ・ 古筆を鑑賞し、その美について理解する。	(1)(4)(5) (2)(3)(7)
三 学 期	三 漢字仮名交じりの書	・ 漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。 ・ 古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。 ・ 文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。 ・ 著作権について理解する。	(2)(3) (1)(4)(5) (1)(2)(4) (2)(3)
	四 生活の中の書	・ 便箋や封筒の宛名、履歴書など、改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く練習をする。 ・ 街中や身近な生活の中で生かされる書を探し、自分たちの生活でどのように生かすことができるかについて考える。	(1)(2)(4) (2)(3)(6)

備考

「書道Ⅰ」 シラバス

学科	総合学科	学年	1 年	類型		組	7 組	単位数	2
使用教科書	書道 I （東京書籍出版）								
副教材等									

1 学習の到達目標

- ① 古典作品の用筆、運筆、字形の特徴をとらえて臨書することができる。
- ② 線質、字形、全体構成などを工夫して自己実現ができる。
- ③ 書を愛好する心情や態度、更に鑑賞能力を身に付ける。

2 学習評価

学習の状況は、次の3観点で観点別評価する。各学期の成績は、観点別評価を実施し、100点法と5段階評定で評価する。学年末の成績は、各学期の観点別評価を総合的に判断し、100点法と5段階評定で行う。

[illegible]

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	書写から書道へ	・ 中学校国語科書写で学習したことを振り返る。	(2)(3)
	一 漢字の書	・ 漢字の成立と変遷について理解する。	(3)(7)
		・ 臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。	(2)(3)
		・ 篆書、隸書、草書、行書、楷書のそれぞれの特徴や用筆、運筆、結構や字形の取り方について学習し、練習する。	(1)(4)(5)
二 学 期	○ 文化祭に向けた作品制作 ・ 文化祭出品作品制作	・ 創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価する。	(1)(4)(5)
	二 仮名の書	・ 仮名に関する用語や特徴、種類について理解し、練習する。	(1)(4)(5)
		・ 古筆を鑑賞し、その美について理解する。	(2)(3)(7)
三 学 期	三 漢字仮名交じりの書	・ 漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。	(2)(3)
		・ 古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。	(1)(4)(5)
		・ 文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。	(1)(2)(4)
		・ 著作権について理解する。	(2)(3)
	四 生活の中の書	・ 便箋や封筒の宛名、履歴書など、改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く練習をする。	(1)(2)(4)
		・ 街中や身近な生活の中で生かされる書を探し、自分たちの生活でどのように生かすことができるかについて考える。	(2)(3)(6)

備考